

華麗なるギャツビー THE GREAT GATSBY 2012年製作

『華麗なるギャツビー』～Greatでなく、The Great と手書きして～
山本澄子（立正大学名誉教授・日本ペンクラブ会員）

「心のうちを文字にしたら」と神経科医に勧められ、ニック・キャラウエイはタイプの前に座る。イェール大卒業後、ニューヨークの証券会社に勤務、郊外のロングアイランド、ウエストエッグに住んでいる。「華麗なるギャツビー」は彼の文章と語りで展開していく。隣の大邸宅の主はギャツビー。そこでは夜な夜な大勢の客を招待して「豪華なパーティ」が催されているが、ある招待状を受け取ったニックは興味本位で参加する。

時代設定は1922年。第一次世界大戦後のニューヨークはバブル状態で人々は浮かれていた。原作者、F・S・フィッツジェラルドが云うように1920年代は「Jazz age」。第一次世界大戦から解放され、新しい時代へと世の中は素早く進化し行く、軽快な音楽、それにふさわしい服装（ショートヘア、ウエストがゆっくりした短めのスカート）が流行った。ギャツビー邸では禁酒時代というのにシャンパンは流れるように振舞われ、すべてが豪華版だ。ギャツビーの客に接する振る舞いも、洗濯されていて卒がない。眩しいような笑顔は参加者を楽しい気持ちにさせ、ここでの彼は「光」輝いている。しかし大半の客にとってギャツビーは謎に包まれた存在で、「密造酒で儲けている」とか「怪しげな薬のチェーン店」を何軒も経営しているとか、不可解な噂が絶えず聞こえてくる。魅力的な笑顔の合間にちらっと見せる眉間の陰険そうな縦しわや、たびたびパーティの最中にかかってくる電話や、不安な顔つきに彼の「影」の部分が見え隠れする。

ニックは成り上り者といささか彼を軽蔑していたが、親しくなるうちに彼の人間性に好意を持ち、また貧しい生い立ちからの立身出世の努力に感銘する。ニックの従妹のデイジーとギャツビーが数年前婚約した間柄だったことも知る。軍隊帰りで金もなく、彼女は金持のトム・ブキャナンと結婚する。そんな彼女をもう一度振りむかせたいと懸命に働き、入江の対岸であるウエストエッグに居を構え、毎晩対岸のグリーンの灯火を眺めて過ごすギャツビー。あの灯は再会の夢の目標であり、彼女の存在証明でもある。暮れなずむ夕日の中に一点を見つめでジッと立っている後ろ姿は美しくもあり切ない。いつの日か彼女が姿をあらわすことを願いながら、パーティを開いている。ギャツビーの滑稽とも思える純情さ、単純さ、目的のために手段を択ばない大胆な錬金術にニックは驚きと同情すら覚える。

ニューヨークとロングアイランドの狭間に「灰の谷」という開発途上の地域があり、そこでウ

イルソンが自動車修理工場とガソリンスタンドを経営している。道路沿いにT・J・エルクバーク博士という色あせた眼科医の看板がたっている。青い目に眼鏡をかけた絵が無表情に労働者の群れを見詰め、パーティーに向う車の、また町へ出かける車をじっと見送る。そこは誰もが通過しなければならない貧と富の分岐点であろう。青い目はそこで何が起ころうと無表情に事実を常に凝視している。ウイルソンが妻とトムの不貞を知り、看板に向って「神は何もかもお見通しだ」と叫ぶシーンが印象的だ。

ニックの計らいギャツビーと再会したデージーはひと時のスリルを楽しむが家庭を捨ててまでギャツビーについて行く決断はできない。彼女が二者選択を迫られたときからギャツビーにとって破滅が始まる。手元にある「アメリカンドリーム」の行方はどうなるのだろうか。ここにギャツビーには理解できない物質的な富と精神的な貧困の強引な融合が引き起こす悲劇がある。

ニックは文章のタイトル、Gatsby とタイプを打ったその数段上に手書きでThe Great と加えたが、その文字にグレートネックに住んだ頃のフィッツジェラルドの姿とギャツビーが重なる。(2013.7.25記)

【映画情報】

『華麗なるギャツビー』 2013年6月14日(金)、丸の内ピカデリー他、全国ロードショー
2D/3D同時公開

監督:バズ・ラーマン

出演:レオナルド・ディカプリオ | トビー・マグワイア | キャリー・マリガン









↑ ポスター

- ・第66回カンヌ映画祭オープニング作品
- ・『華麗なるギャツビー』(The Great Gatsby) 1974年製作のリメイク版
 - ※旧作は、『華麗なるギャツビー』(The Great Gatsby) 1974年、監督:ジャック・クレイトン、主演:ロバート・レッドフォード
- ・原作: スコット・フィッツジェラルドの小説でイノセンス(無垢)をテーマにしたアメリカ文学の系譜にある20世紀最高の小説とされている。
- ・登場人物:
 - ジェイ・ギャツビー(Jay Gatsby)
 - ニック・キャラウェイ(Nick Carraway)
 - デイジー・ブキャナン(Daisy Buchanan)
 - トム・ブキャナン(Tom Buchanan)
 - ジョーダン・ベイカー (Jordan Baker)

©2012 Warner Bros. Entertainment Inc. All rights reserved.